



報道で紹介された美瑛高校 12

◆令和6年7月27日(R6. 8. 3 びえい新聞)

美瑛高校の新しい魅力「ドローンを活用した教育活動」の一環として「第1回ドローンフェスティバル in 美瑛高校」を実施しました。たくさんの町民の皆様方に参加していただき、大盛況のうち終了しました。観光・農業・災害など今後活用が期待されているドローンを効果的に教育に取り組んでいきます

本格的なドローン体験に生徒や来校者が熱中 美瑛高校ドローンフェスティバル大好評



ドローンサッカーやフライト体験に来校者が熱中。美瑛高校体育館で7月27日、初めての試みとなる「ドローンフェスティバル」が開催。例年、ドローン部と拓殖大学北海道短期大学ドローンサッカー部の協力のもと、本格的なドローン体験が用意され、来校者を楽しませた。美瑛高校では、来年度から国家資格「ドローン資格」(二等無人航空機操縦士)の資格取得授業(選択制)を採り入れることを見据え、生徒たちのドローン体験会などを実施。今回は地域の子どもたちをはじめ多くの人々に

ドローンに興味を持つてもらえればと体育館を一般開放し、ドローンの楽しさや様々な分野での活用方法を伝えた。会場にセッティングされたドローンサッカーでは、ドローンが入った球体を操縦。浮かぶ球体をコントロールして輪の中を通す。手元のコントローラーで操る球体を見る目は、子どもも大人も変わりなく真剣。微妙な操作で集中しながら輪をくぐらせると笑顔が広がった。拓殖大学北海道短期大学ドローンサッカー部の部員による丁寧なアドバイスもあり、ゲーム感覚で楽しめるドローンサッカーは大人気。ドローンのフライト体験も順番待ちの行列ができた。このほか町でも災害対策用のドローンを展示。職員が開設を添えた。ほかにも

農業用ドローンなど各種ドローンの展示があり、来校者の興味を惹き付けていた。農業や防災、観光をはじめ様々な利用の可能性を広

げているドローン。来年から導入されるドローン資格取得授業は、北海道立高校では初となるだけに、時代を先取りした美瑛高校の取り

組みは期待できるもの。ドローンの環境が整い、有効な活用から美瑛高校の特徴のひとつとできるのか、今後の展開に注目したい。